



和宮戯画 (部分)

目 次

博物館のあゆみ

平成 20 年度 2

平成 21 年度 8

博物館の名品 13

博物館のあゆみ

平成 20 年度

館 内 業 務

1. 平常展

○会期=平成20年4月1日～平成21年3月31日

館蔵の徳川歴代将軍の遺品を適宜展示替えし、(財)徳川記念財団の優品を、書画を中心に加え展示。

2. 館報第20号の発行

○平成18・19年度の博物館のあゆみを報告する「館報第20号」を発行し、関係諸機関に配布。

3. 資料の寄贈

○平成20年12月6日、川越東照宮より、「東照宮全図」(明治25年版) 壱枚の寄贈を受けた。



青地葉花文緞子単裁着袴 伝 徳川家定所用

館 外 業 務

1. 資料の出品

○「天璋院篤姫」展

①会期・平成20年2月9日～4月6日

会場・江戸東京博物館

②会期・平成20年4月19日～6月1日

会場・大阪歴史博物館

③会期・平成20年9月6日～10月17日

会場・鹿児島県歴史資料センター黎明館

徳川家定所用の青絲威具足（①③）・裁着袴、徳川家茂所用の白羅紗陣羽織・紫羅紗筒袖陣羽織（①②③）、紅絲威具足（②）を出品。

○「徳川家康と静岡」展

会期・平成20年9月23日～9月28日

会場・静岡県立美術館県民ギャラリー

東照大権現像2幅・徳川家康覚書・秀忠書状・家光画「茄子」・義直書状・慶喜書「氷香」・酒井忠勝書状等13件を出品。

○特別展「明治天皇と維新の群像」

会期・平成20年10月4日～11月24日

会場・明治神宮文化館

徳川慶喜所用軍帽・慶喜書「愛敬」・勝海舟所用短刀広次を出品。

○「天下人を祀る－神になった信長・秀吉・家康－」展

会期・平成20年10月11日～11月16日

会場・滋賀県立安土城考古博物館

後水尾天皇宸翰神号・重文贈正一位位記案、徳川秀忠社領寄進判物を出品。

○特別展「幕末日本と徳川斉昭」

会期・平成20年10月11日～11月24日

会場・茨城県立歴史館

徳川家茂所用馬面と徳川斉昭書出（名字）を出品。

○企画展「日本刀は語る－名工の技と心－」

会期・平成20年10月18日～11月24日

会場・群馬県立歴史博物館

重文太刀国行（徳川吉宗寄進）を出品。

○特別展「珠玉の輿」

会期・平成20年12月16日～平成21年2月1日

会場・江戸東京博物館

重文芭蕉蒔絵硯箱・鉛筆・けひきばし・高麗鋏・和鋏・目器・脇指貞宗（合口拵付）を出品。

○特別展「おがわ是苦集に見る鉄砲小道具の用と美」

会期・平成21年 1 月31日～ 3 月22日

会場・板橋区立郷土資料館

重文火縄銃（付属品とも）2 挺と徳川家光所用紺絲素懸威具足を出品。

○特別展「筆の美」

会期・平成21年 2 月21日～ 3 月29日

会場・五島美術館

重文黒柿硯箱 1 具を出品。

○特別展「大奥」

会期・平成21年 3 月21日～ 5 月 6 日

会場・福井市立郷土歴史博物館

薙刀国宗（拵付）・桂昌院詩歌詠草と懷紙・精姫和歌巻と短冊・文恭院香典帖・大奥女中分限帖を出品。

2. 静岡県博物館協会総会

期日・平成20年 5 月20日

会場・静岡県立美術館

平成20年度総会が開催され、小林学芸部長が出席。

3. 東海地区博物館連絡協議会総会

期日・平成20年 7 月25日

会場・徳川美術館

平成20年度総会が開催され、小林学芸部長が出席。

4. 全国博物館大会

期日・平成20年11月19日～ 21日

第 56 回大会が松江市で開催され、斎藤学芸員が出席。

5. 文化庁研究協議会

期日・平成21年 2 月12日～ 13日

平成20年度協議会が奈良国立博物館で開催され、斎藤学芸員が出席。

6. 大名道具収蔵館研究会

期日・平成21年 3 月13日～14 日

会場・米沢市上杉博物館

第17回研究会が開催され、小林学芸部長が出席。

庶務報告

1. 平成20年度入館者状況

区分 月	大 人	小 人	団 体	ロープウェイ と共通	クーポン	無 料	計
4 月	2,297	197	945	560	87	33	4,119
5 月	3,183	342	1,412	895	135	17	5,984
6 月	1,256	50	846	573	26	13	2,764
7 月	1,393	108	1,208	418	46	3	3,176
8 月	2,466	435	429	824	22	9	4,185
9 月	1,943	76	648	606	54	10	3,337
10 月	2,135	134	1,008	951	127	15	4,370
11 月	2,981	171	1,143	975	86	27	5,383
12 月	1,997	159	512	405	35	9	3,117
1 月	3,536	322	1,197	1,012	51	28	6,146
2 月	2,851	186	1,255	732	30	13	5,067
3 月	3,553	316	1,053	1,102	59	9	6,092
計	29,591	2,496	11,656	9,053	758	186	53,740

2. その他

- 4月8日、「天璋院篤姫」展の資料撤収に小林学芸部長が江戸東京博物館へ出向。
- 4月11日、「天璋院篤姫」展の資料の返品及び借用に、江戸東京博物館斎藤慎一氏・
(財)徳川記念財団柳田直美氏・大阪歴史博物館船越幹央氏・NHKプロモーション難波優
子氏が来館。
- 5月5日、子供の日にあたり、父兄同伴の子供を無料とした。
- 5月12日、明治神宮文化館黒木俊博氏が出品依頼に来館。
- 5月19日、(財)徳川記念財団柳田直美・徳川典子両氏が展示替えに来館。
- 5月23日、北里研究所長小曾戸洋氏が同研究部天野陽介氏を伴い、網吉画のことで来
館。
- 6月10日、「天璋院篤姫」展の資料返品に大阪歴史博物館船越幹央氏・NHKプロモー
ション田中明美氏が来館。
- 6月11日、日本博物館協会の博物館長会議に落合館長が出席。
- 6月17日、能美防災が館内を点検。
- 6月25日、館報作成のため、小林学芸部長が艸藝社へ出向。
- 6月26日、安土城考古博物館高木叙子氏が資料の出品依頼に来館。
- 7月14日、(財)徳川記念財団徳川典子・藤田英昭両氏が展示替えに来館。同日、落雷停電、
翌日修理。

- 7月17日、静岡市文化振興課山田孝氏が同振興財団の以倉新氏・小川かい氏等同伴にて新美術館特別展の件で来館。
- 8月3日及9月18日、三井記念美術館学芸課長清水実氏が特別展の件で来館。
- 8月5日、静岡県立中央図書館長天野忍氏が出品資料の撮影に来館。
- 8月25日、NHKプロモーション田中明美氏・黎明館中村憲氏が出品資料の借用に来館。
- 8月29日、(財)徳川記念財団徳川典子氏が展示替えに来館。
- 9月4日～5日、「天璋院篤姫」展の飾り付けに小林学芸部長が鹿児島県歴史資料センター黎明館へ出向。
- 9月10日、明治神宮文化館黒木俊博氏が同館学芸員大森健司氏同伴にて出品資料の借用に来館。
- 9月17日、文化庁の斉藤孝正氏が海外展協力依頼に来館。
- 9月22日、「徳川家康と静岡」展の飾り付けに小林学芸部長・斎藤学芸員が静岡県立美術館へ出向。
- 9月27日、茨城県立歴史館石川武治氏が出品資料の借用に来館。
- 9月29日、「徳川家康と静岡」展の資料撤収に小林学芸部長・斎藤学芸員が静岡県立美術館へ出向。
- 10月7日、NHKエデュケーショナルプロデューサー加藤恵子氏他3名が徳川家光画の取材撮影に来館。
- 10月8日、安土城考古博物館高木叙子氏が出品資料の借用に来館（11月19日、同氏より返却）。
- 10月11日、群馬県立歴史博物館小山友孝氏が出品資料の借用に来館（11月27日、同氏より返却）。
- 10月21日、福井市立郷土歴史博物館角鹿尚計・高瀬裕美両氏が出品資料の調査に来館。
- 10月27日、(財)徳川記念財団徳川典子氏が展示替えに来館。
- 10月29日、黎明館中村憲氏・NHKプロモーション難波優子氏が出品資料の返却に来館。
- 11月10日、オフィスゾラ静岡制作ディレクター柴原健人氏が重文洋時計の撮影に来館。
- 11月14日、板橋区立郷土資料館小西雅徳氏が出品資料の調査に来館。
- 11月29日、静岡大学人文学部学生関氏等3名がフィールドワーク基礎学習で来館。
- 11月30日、茨城県立歴史館永井博氏が出品資料の返却に来館。
- 12月4日、江戸東京博物館斎藤慎一氏が出品資料の借用に来館。
- 12月10日、能美防災が館内を点検。
- 12月17日、明治神宮大森健司氏が出品資料の返却に来館。
- 12月26日、(財)徳川記念財団柳田直美・藤田英昭両氏が展示替えに来館。
- 1月12日、五島美術館出品依頼の重文筆を艸藝社（鍋田孝一・竹本春二両氏）が撮影。
- 1月22日、板橋区立郷土資料館小西雅徳氏が出品資料の借用に来館（3月26日、同氏より返却）。

- 1月28日、静岡大学教授^小和田哲男氏・新晃電機産業代表取締役竹村雅夫氏・碧水社^大和田泰経氏が島左近の兜を調査。
- 1月30日、特別展の飾り付けに、小林学芸部長が板橋区立郷土資料館へ出向。翌31日、同所で講演。
- 2月5日、江戸東京博物館斎藤慎一氏が出品資料の返却に来館。
- 2月10日、五島美術館名児耶明氏が出品資料の借用に来館。
- 2月14日、清水区の耀海寺住職斎藤見遙氏が七宝燭台のことにつき来館。
- 2月25日、五島美術館名児耶明氏・筆の里振興事業団理事長芥川雅利氏・同学芸員松本未穂氏が特別展出品依頼に来館。
- 2月26日、静岡市文化財保護審議会(於エンバーソン邸)に小林学芸部長が出席。
- 2月27日、(財)徳川記念財団柳田直美・夏目琢史両氏が展示替えに来館。
- 3月2日、九州大学大学院教授井手誠之輔氏が同研究員金鍾珉氏他1名同伴にて重文父母恩重経の調査に来館。
- 3月12日、福井市立郷土歴史博物館角鹿尚計・高瀬裕美両氏が出品資料の借用に来館。
- その外、この期間に下記の方々が来館した。

徳川恒孝氏・徳川幸子氏(財)徳川記念財団、4月17日) 大村和男氏(静岡市教育委員会、4月17日) 鴫田孝一氏(艸藝社取締役、4月17日及8月23日) 山田剛氏(静岡市経済局、5月30日) 福田道憲氏(厳島神社宝物館、6月4日) 堀江登志実氏(岡崎市美術博物館、6月9日) 近藤邦治氏(日本美術刀剣保存協会岐阜県支部長、6月9日) 景山満氏(駿府静岡歴史楽会、6月12日) 田辺駿之介氏(講師、6月12日) 山内祥二氏(長篠城趾史蹟保存館長、7月8日) 片桐厚史氏(同上主査、7月8日) 高橋健二氏(静岡県県民部、7月31日) 酒井氏等25名(町田市立小川小学校、8月19日) 黒沢脩氏(元静岡市参与、8月23日及10月6日) 増田孝氏(愛知文教大学副学長、9月2日) 稲本泰生氏(奈良国立博物館企画室長、9月3日) 石田太一氏(唐招提寺執事、9月3日) 静岡ミュージアム紀行一行11名(9月10日) 湧井壮吉氏(徳川慶喜公顕彰会、9月25日) 名児耶明氏(五島美術館学芸部長、10月3日) 深澤正一氏(静岡日タイ協会事務局長、10月6日) 恒川文栄氏(静岡市観光課、10月9日、11月13日及27日) 梅原邦春氏(駿河区役所総務参事、10月17日) 中嶋直子氏(便利堂、11月12日) 辻維周氏(霞会館、1月10日及3月3日)、堀田圭一氏(富士シリシア化学、2月24日)、天野忍氏(静岡県立中央図書館館長、3月8日) 静岡市観光協会員11名(3月11日)、駿府静岡歴史楽会員50名(3月15日) 母利美和氏(京都女子大学教授、3月27日)、若杉守氏(静岡市文化財資料館長、3月31日)。

平成 21 年度

館 内 業 務

1. 平常展

○会期＝平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

館蔵の東照宮伝世の文化財を適宜展示替えし、(財)徳川記念財団の優品を、書画を中心に
加え展示。

2. 資料の寄贈

○平成 21 年 4 月 12 日、崇敬者より東照宮鳴鈴（元禄元年五月吉日銘）壺個の寄贈を受けた。

○平成 21 年 6 月 5 日、崇敬者より「久能山真景図」（明治 21 年 6 月製）・「東照宮全図」（明治 25 年 5 月製）各壺枚の寄贈を受けた。

館 外 業 務

1. 資料の出品

○特別展「大奥」

会期・平成 21 年 3 月 21 日～5 月 6 日

会場・福井市立郷土歴史博物館

薙刀国宗・桂昌院詩歌詠草・精姫和歌巻「真砂のかす」等 7 件を出品。

○特別展「筆の美」

会期・平成 21 年 4 月 8 日～4 月 26 日

会場・広島県筆の里工房

重文黒柿硯箱 1 具を出品。

○「江戸から明治へ しずおかの貴重書と初代県知事関口隆吉」展

会期・平成 21 年 10 月 7 日～10 月 17 日

会場・静岡県立美術館県民ギャラリー

関口隆吉像 1 幅を出品。

○企画展「徳川三代と忍藩」

会期・平成 21 年 10 月 10 日～11 月 23 日

会場・行田市郷土博物館

徳川家康筆『道中宿付』1 巻を出品。

○文化庁海外展「侍の芸術」

会期・平成 21 年 10 月 20 日～平成 22 年 1 月 10 日

会場・ニューヨーク メトロポリタン美術館

重文火縄銃・太刀国行、弓具・家康及徳川十六将図を出品。

○「徳川慶喜と静岡の文明開化」展

会期・平成21年10月24日～11月8日

会場・静岡市文化財資料館

徳川慶喜・家達像（油彩）、慶喜書「静」・油絵、カメラ、釣道具、軍帽、煙草入、間宮魁像を出品。

○「三方ヶ原合戦と浜松城」展

会期・平成21年10月24日～11月8日

会場・浜松城天守閣

家康及徳川十六将図と落合左平次背旗図を出品。

○特別展「政治の時代―井伊直弼と幕末の群像―」

会期・平成21年10月30日～11月29日

会場・彦根城博物館

徳川家定所用の青絲威具足と徳川家茂所用の筒袖陣羽織・馬面を出品。

○企画展「徳川綱吉と元禄の世」

会期・平成21年12月15日～平成22年2月7日

会場・江戸東京博物館

徳川綱吉筆『稼穡図』屏風・書「誠実」、縹絲威具足、太刀国正、徳川家綱筆『鶏図』、軍配、腰桶、徳川家宣筆「春くれば」（古歌色紙）、桂昌院詠草を出品。

○特別展「ガレオン船が運んだ友好の夢」

会期・平成22年2月1日～2月22日

会場・たばこと塩の博物館

重文洋時計1個を出品。

○「山岡鉄舟と明治の群像」展

会期・平成22年3月10日～3月22日

会場・駿府博物館

徳川慶喜・家達像、慶喜筆「仰之弥高」・『日本風景』（油彩）、登美宮短冊を出品。

2. 静岡県博物館協会総会

期日・平成21年6月2日

会場・静岡県立美術館

平成21年度総会が開催され、小林学芸部長が出席。

3. 資料の特別出陳

- 平成21年9月30日、日本駐在メキシコ大使の要請により、日本メキシコ交流400周年記念講演会の会場（東京 メキシコ大使館）へ重文洋時計を特別に出陳した。

庶務報告

1. 平成 21 年度入館者状況

区分 月	大 人	小 人	団 体	ロープウェイ と共通	クーポン	無 料	計
4 月	3,092	226	510	787	74	2	4,691
5 月	3,536	406	998	1,033	168	16	6,157
6 月	1,763	81	1,010	683	47	10	3,594
7 月	1,492	121	1,133	557	34	3	3,340
8 月	2,078	369	672	752	34	18	3,923
9 月	2,802	255	1,282	804	76	5	5,224
10 月	2,379	119	1,457	799	63	88	4,905
11 月	2,674	123	1,199	1,003	82	11	5,092
12 月	1,395	100	540	405	41	11	2,492
1 月	3,691	389	814	976	23	16	5,909
2 月	2,039	130	932	640	31	25	3,797
3 月	3,047	351	873	885	75	14	5,245
計	29,988	2,670	11,420	9,324	748	219	54,369

2. その他

- 4月24日、(財)徳川記念財団柳田直美・夏目琢史両氏が展示替えに来館。
- 4月26日、(財)三井記念美術館長清水真澄氏、同学芸課長清水実氏と特別展出品依頼に来館。
- 4月28日、名古屋港水族館長内田至氏、ジャパンオプティカル取締役相談役伊藤四郎氏とべつ甲調査に来館。
- 4月30日、五島美術館学芸部長名兄耶明氏・筆の里振興事業団学芸員松本未穂氏が出品資料の返却に来館。
- 5月 5日、子供の日にあたり、父兄同伴の子供を無料とした。
- 5月12日、福井市立郷土歴史博物館角鹿尚計・高瀬裕美両氏が出品資料の返却に来館。
- 5月13日、室内の温度を 23℃ に変更。
- 5月29日、小林学芸部長が三井記念美術館へ特別展の件で出向。
- 5月31日、行田市郷土博物館学芸員鈴木紀三雄氏が、資料の出品依頼に来館。
- 6月10日、能美防災が館内を点検。
- 6月26日、第 2 回静岡市新美術館企画展会議を当館で開催。出席者は静岡市文化振興財団以倉新・吉田恵理、静岡県立美術館飯田真、(財)徳川記念財団柳田直美・夏目琢史、NHK プロモーション加藤元章の各氏及び当館小林学芸部長。閉館後、財団資料の展示替え。

- 7月17日、(於清水区役所)・12月7日(於中勘助文学記念館)・3月10日(於駿河区役所)、静岡市文化財保護審議会に小林学芸部長が出席。
- 7月18日、彦根城博物館学芸員野田浩子氏が資料の出品依頼に来館。
- 7月22日、空調機を修理。
- 8月3日、1階の電灯を修理。
- 8月11日、駿河湾で地震発生。博物館前の石垣被災。
- 8月31日、(財)徳川記念財団柳田直美・夏目琢史・江戸東京博物館大橋菜都子の三氏が資料の出品依頼に来館。閉館後、財団資料展示替え。
- 9月9日及11日、東京国立博物館上席研究官池田宏氏が資料の梱包・搬出に来館。
- 9月23日、静岡県立中央図書館企画振興課長野島典子氏が資料の出品依頼に来館。
- 9月30日、浜松市生活文化部佐野一夫氏が資料の出品依頼に来館。
- 10月2日、行田市郷土博物館学芸員鈴木紀三雄氏が出品資料の借用に来館。
- 10月6日、静岡県立中央図書館矢島一氏が出品資料の借用に来館。
- 10月9日、第3回静岡市新美術館企画展会議(於静岡アートギャラリー)に小林学芸部長が出席。
- 10月11日、静岡鉄道(株)主催の健康ウォーキングに協力。
- 10月15日、静岡市文化財資料館長若杉守氏が市文化財課副主幹横田泰之氏同伴にて出品資料の借用に来館。
- 10月16日、静岡県博物館協会40周年記念式典(於静岡県立美術館)に落合館長が出席。同日、彦根城博物館高本文恵・藤尾隆志両氏が出品資料の借用に来館。
- 10月17日及1月31日、「山岡鉄舟と明治の群像」展企画会議(於静岡グランシップ)に小林学芸部長が出席。
- 10月20日、浜松市生活文化部佐野一夫氏が出品資料の借用に来館。
- 10月21日、全国新聞社事業協議会29名が来館。同日、静岡県立中央図書館野島典子・矢島一両氏が出品資料の返却に来館。
- 10月22日、「徳川慶喜と静岡の文明開化」展の飾り付けに小林学芸部長が静岡市文化財資料館へ出向。
- 10月24日、「徳川慶喜と静岡の文明開化」展の開催式に落合館長出席。
- 10月30日、(財)徳川記念財団研究員夏目琢史氏が展示替えに来館。
- 11月9日、「徳川慶喜と静岡の文明開化」展の資料撤収に小林学芸部長が静岡市文化財資料館へ出向。
- 11月10日、浜松市生活文化部佐野一夫氏が出品資料の返却に来館。
- 11月14日、静岡市文化財資料館長若杉守氏が出品資料の返却に来館。
- 11月30日、行田市郷土博物館学芸員鈴木紀三雄氏が出品資料の返却に来館。
- 12月8日、(財)徳川記念財団夏目琢史氏・江戸東京博物館大橋菜都子氏が出品資料の借用に来館。閉館後、財団資料展示替え。
- 12月9日、能美防災が館内を点検。

- 12月12日、長篠城趾史蹟保存館長山内祥二氏一行が来館。
- 12月14日、「徳川綱吉と元禄の世」展の飾り付けに小林学芸部長が江戸東京博物館へ出向。
- 1月16日、艸藝社取締役鵜田孝一氏・カメラマン竹本春二氏が重文茶壺の撮影に来館。
- 1月21日、テレビの取材で東海林明氏・竹財輝之助氏・水野真裕美氏（TBSアナウンサー）が来館。
- 1月22日、防災訓練を実施。
- 1月28日、たばこと塩の博物館学芸員榊玲子氏が出品資料の借用に来館。SBSカメラマン原木雅雄氏が取材。
- 2月3日、静岡市新美術館の企画展調査で、小林学芸部長が犬山市文化史料館・東龍寺へ出向。
- 2月9日、東京国立博物館上席研究官池田宏氏が出品資料の返却に来館。
- 2月11日、(財)徳川記念財団柳田直美氏・江戸東京博物館大橋菜都子氏が出品資料の返却に来館。
- 2月22日、たばこと塩の博物館学芸部長半田昌之氏が出品資料の返却に来館。
- 3月5日、静岡市文化振興財団学芸員吉田恵理氏が出品資料の借用に来館。
- 3月8日、(財)徳川記念財団学芸部長柳田直美氏が資料の展示替えに来館。
- 3月9日、「山岡鉄舟と明治の群像」展の飾り付けに小林学芸部長が駿府博物館へ出向。
- 3月23日、同上展の資料撤収に小林学芸部長が駿府博物館へ出向。
- 3月28日、常葉大学教授日比野秀男氏が出品資料の返却に来館。
- その他、この期間に下記の方々が来館した。

徳川恒孝氏・徳川幸子氏・(財)徳川記念財団・4月17日) 近藤克彦氏(徳川宗家執事・4月17日) 鵜田孝一氏(艸藝社取締役・4月17日、8月29日、12月4日及1月17日) 田中明美氏・加藤元章氏(NHKプロモーション・4月20日) 以倉新氏・小川かい氏(静岡市文化振興財団、4月20日) 吉田恵理氏(同上・5月11日、6月12日及10月26日)、福山泰江氏(佐佳枝酒社祢宜・6月28日)、渡辺忠晃氏(静岡新聞社編集局出版部専任部長・7月18日)、角鹿尚計氏(福井市立郷土歴史博物館学芸員・8月5日)、小島政孝氏(小島資料館長・8月12日)、久保田昌希氏(小島日記研究会・8月12日)、斎藤見遙氏(耀海寺住職・9月11日及11月29日)、斎藤慎一氏(江戸東京博物館学芸員・9月26日)、高橋修氏(茨城大学・9月26日)、大谷真二氏(中山忠能子孫・10月23日)、班目哲司氏(日本郵船KK・10月24日)、斎藤洋一氏(戸定歴史館学芸員・10月26日)、大石沙織氏(静岡市文化振興財団・10月26日) 松平康久氏(国際刀装具会・10月27日)、多々良典秀氏(静岡市教育委員会・11月13日及1月15日)、花澤新太郎氏(静岡文化芸術大学准教授・11月15日)、徳川典子氏((財)徳川記念財団学芸員・12月1日)、井口信久氏(川越市立博物館学芸員・12月31日) 中岡進氏・湯田祥子氏(若松城天守閣博物館・1月27日)、浦井正明氏(寛永寺執事長・1月29日)、小川盛弘氏(メトロポリタン美術館特別顧問・3月11日)、崎山健文氏(鹿児島県歴史資料センター黎明館・3月11日)



金小札紫絲威喉輪



紫絲威頬当

博物館の名品 47

金小札紫絲威喉輪（きんこざねむらさきいとおどしのどわ）

徳川秀忠所用 一個

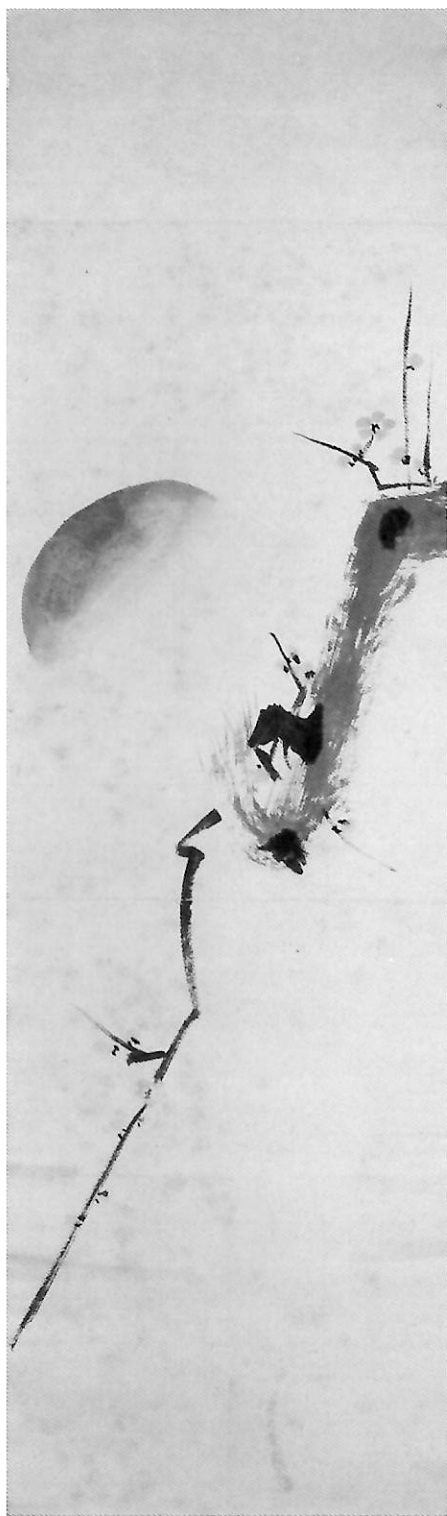
函工岩井与左衛門が秀忠に献上した喉輪であることが『御代々御召御具足并御小道具帳』によって知られる。金箔の押された鉄小札二段を紫糸で毛引に威し、菱縫板には金銅魚子地三葉葵紋地影の裾金物を三個打つ華麗な仕立てである。月形の先端近くを蝶番繋ぎにしてあり、屈曲を配慮していることが窺われる。

博物館の名品 48

紫絲威頬当（むらさきいとおどしほおあて）

徳川家光所用 一個

大久保彦左衛門忠教が将軍家光に献上した目の下頬当である。『御代々御召御具足并御小道具帳』の大猷院様御小道具の中に「御頬 壺面 黒塗、さけ、小札、紫糸御おとし 大久保彦左衛門上」と見えている。



博物館の名品 49

徳川家斉筆 旭日紅梅図

(きょくじつこうばいず)

一幅

徳川家斉は好きな『三国志』の「諸葛孔明像」や「草廬三顧図」を狩野惟信に描かしめ、自らも絵筆を執るほど、この道に親しんだ。

本図は枝先近く咲き誇る紅梅と、それを見守るかの如く太陽が徐に昇りはじめる情景を描いた豪快な作で、戸川安清拝領の品である。



博物館の名品 50

徳川慶喜・家達像（とくがわよしのぶ・いえさとぞう）

一面

フロックコートに身を包む、礼装の慶喜と家達像である。『慶喜家扶日記』明治 24 年（1891）11 月 5 日条に「一位様御肖像久能山ニ御所蔵之儀ニ付、前田五門参上、梅沢引合候事」とあり、同 7 日条にも「一位様御肖像之儀ニ付、梅沢覚久能山へ出張、前田五門へ御衣冠之御写真被下候事 玉置金司矢崎千代次」とあるので、本像は久能山東照宮に蔵するため、衣冠姿の慶喜像と共に写真をもとに玉置金司・矢崎千代治が描いたものであることが知られる。

久能山東照宮博物館報
—— 第 21 号 ——
平成22年10月17日 発行
編集発行 久能山東照宮博物館
〒422-8011 静岡市駿河区根古屋390
TEL.054(237)2437

印刷 有限会社艸藝社
〒104-0041 中央区新富1-15-14
TEL.03(5540)6421